

デジタル時代のコンテンツ戦略検討タスクフォースの開催について

1. 趣 旨

デジタル時代におけるコンテンツ・クリエイション・エコシステムの活性化等を目指した戦略について、文化審議会における著作権制度改革（簡素で一元的な権利処理）に関する検討の状況にも留意しつつ、コンテンツの創作・流通・利用の未来像等を見据えた検討を行う。

2. 検討事項

- (1) デジタル化の進展を踏まえたコンテンツの創作・流通・利用の未来像について
- (2) デジタル時代におけるコンテンツ・クリエイション・エコシステムの在り方について
- (3) その他

3. 構成員

(有識者)

内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部教授
中村伊知哉	i U (情報経営イノベーション専門職大学) 学長
夏野 剛	(株) KADOKAWA 代表取締役社長
福井 健策	弁護士 骨董通り法律事務所

(政府関係者)

内閣府知的財産戦略推進事務局
総務省情報流通行政局
文化庁
経済産業省商務情報政策局

4. スケジュール

- ・ 2022年2月初旬から3月末頃までの間、月2・3回程度の会議を開催する。
- ・ 関係者からのヒアリング等を実施して課題を整理し、その成果については、2022年4月を目途に知的財産戦略推進本部構想委員会（コンテンツ戦略WG）へ報告する。

5. その他

- ・ 構成員間及び構成員とヒアリング対象者との間の率直かつ自由な意見交換を確保するため、本タスクフォースの会議は非公開とする。ただし、会議の資料及び議事概要は、会議終了後に原則として公表する。
- ・ 本タスクフォースの庶務は、関係省庁の協力を得て、内閣府知的財産戦略推進事務局において処理する。